

毎週日曜発行
2022 6/19

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



首相！よりよい社会をつくるには？

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

ニュース



こども記者が取材



岸田首相にSDGsに関する質問をぶつけたこども記者
17日、首相官邸

よりよい社会をつくるために、政府はどんな取

り組みをしているのかな。自分たちにできることは？ こども記者が、岸田文雄首相に国連の持続可能な開発目標（SDGs）に対する考えなどを直接聞いたよ。



全国14の新聞社のこども記者20人が7日、首相

違う意見も丁寧に聞く

自分たちが考えた環境問題やジェンダーなどに関する八つの質問を、岸田首相にぶつけました。清野さんが、来年度創設されるこども家庭庁について「子どもの声を政策に反映させるために、全国の子どもが参加できる審議会をつくるのはどうでしょうか」と提案すると、岸田首相は「子どもを中心にした社会をつくるためにも、子ども審議会はとてもいい考え。設置する方向で考えたい」と答えました。「多様性を認め合うために、岸田首相はどんなことをしていますか」という質問には「外務大臣をしていたときに、世界



官邸で「岸田首相を囲むこども記者会見」に挑戦しました。「こども新聞 週刊がほピョンプレス」からは、仙台市の大野田小6年後藤有咲さん(11)と八幡小6年桜井みらいさん(11)、館小6年清野智優さん(11)の3人が参加しました。

清野さんは、緊張せず質問できた様子。会見が終わった後「岸田首相はとてもフレンドリーでした。子ども審議会が設置されたら、自分も参加したいです」と感想を述べました。桜井さんは「テレビでしか見たことのない岸田首相に、直接会えてうれしかった。一生の思い出になりました」と、後藤さんは「岸田首相が話したことがどう実現していくのか、見るのが楽しみです。政治に少し興味湧きました」と笑顔を見せました。



にはいろいろな考えの人がいると痛感しました。簡単ではないけれど、自分とは違う意見も、丁寧に聞いて理解することが大事だ」と話しました。女性の国会議員を増やす対策を問われると「まずは立候補者を男女同じ人数にしたい。女性が立候補しやすい環境をつくる努力をする」と語りました。

今週の注目ニュース

◇23日(木) 東北新幹線開業40年
40年前のこの日、東北新幹線が大宮ー盛岡間で開業したよ。車両の色から「緑の新幹線」と呼ばれたんだ。当時の車両に似せた列車を走らせたり、グッズを販売するなどの記念イベントが予定されているよ。

みんなの紙面

- 2面 みんなのギモンにこたえるモン
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー